

二十歳を祝う式典

希望を胸に

新たな一歩

1月4日(土)、日高町中央公民館において、令和7年二十歳を祝う式典が執り行われました。式典には、対象者93名のうち74名が出席し、大人への第一歩を踏み出しました。

松本町長が式辞で「明るい未来を切り拓くのは、いつの時代も若者の柔軟で斬新な『発想』と『行動力』です。皆さんが何事にも失敗を恐れず、情熱と希望をもって、一度しかない人生を心豊かに歩んでいただくことを願っております。」と激励。来賓の方々からもたくさんのお祝いの言葉が贈られました。

新成人を代表して、戸根乙翠さんに記念品が贈呈されると、前田天勢さんが謝辞で「皆さま方から頂いたお祝いと励ましの言葉を大切にしていきたいと思えます。そして、愛情をそそいでくれた親や家族、いつも近くで見守ってくださった地域社会の皆さま方に感謝し、社会のお役に立てるよう社会に貢献できる人間になることを、お誓い申し上げます。」と新成人としての決意を述べました。



式典後、中央公民館前にて、濱村碧翔さんの合図で「門出」の花言葉があるスイートピーの種入りの風船を飛ばし、記念撮影をして新たな門出を祝いました。





※写真は裏表紙にも掲載しています。